

社会資本総合整備計画

事後評価書

令和01年10月29日

計画の名称	太子町における快適な暮らしを実現する下水道整備の推進													
計画の期間	平成26年度 ～ 平成30年度（5年間）										重点配分対象の該当			
交付対象	太子町													
計画の目標	下水道整備を行い、快適な暮らしを実現し、良好な環境を創造する。													
全体事業費（百万円）	合計（A＋B＋C＋D）		348	A	348	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C／（A＋B＋C＋D）	0	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		H26当初	H28末	H30末
1	雨水整備率を、55.7％（H26）から57％（H28）に向上させる。 計画区域の面積のうち、概ね5年に1回程度発生する規模の降雨に対して安全であるよう下水道整備が完了している区域の面積の割合。 雨水整備率＝整備済区域の面積（ha）234.8／計画区域の面積（ha）411.9			
		56％	57％	57％
2	H30末までに、雨水貯留槽を90基設置する。 雨水貯留槽の設置基数（90基）			
		7基	80基	90基
3	区画整理事業（区域面積4.6ha）に合わせた污水整備により、普及率の向上を図る。 下水道整備が必要な区画整理区域面積（4.6ha）の内、整備した面積。			
		0ha	5ha	5ha
4	前処理ポンプ場における汚泥処理方法を見直し、老朽化施設更新費用等の経費を削減することとし、生汚泥引抜施設の整備率を0％（H26）から100％（H28）に向上させる。 前処理ポンプ場における生汚泥引抜施設の整備率 整備率＝生汚泥引抜施設整備箇所数（箇所）／生汚泥引抜施設計画箇所数（箇所）（1箇所）			
		0％	100％	100％
5	前処理ポンプ場における汚泥処理方法を見直し、老朽化施設更新費用等の経費を削減することとし、浄化センターにおける生汚泥搬入施設の整備率を0％（H26）から100％（H28）に向上させる。 浄化センターにおける生汚泥搬入施設の整備率 整備率＝生汚泥搬入施設整備箇所数（箇所）／生汚泥搬入施設計画箇所数（箇所）（1箇所）			
		0％	100％	100％

備考等	個別施設計画を含む	－	国土強靱化を含む	－	定住自立圏を含む	－	連携中枢都市圏を含む	－

A 基幹事業																			
基幹事業（大）	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別 1	種別 2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名／ 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
		一体的に実施することにより期待される効果																	
		備考																	
下水道事業	A07-001	下水道	一般	太子町	直接	－	管渠（ 雨水）	新設	大津茂川右岸第4排水区雨水事業	雨水渠 U1300×800 L=290m 調整池390m3	太子町			■	■		67		－
	A07-002	下水道	一般	太子町	間接	個人	－	新設	雨水貯留槽設置補助金	雨水貯留槽90基分	太子町	■	■	■	■	■	1		－
		新世代																	
	A07-003	下水道	一般	太子町	直接	－	管渠（ 污水）	新設	太子第4-2処理分区（未普及解消）	污水管 Φ=150mm L=1, 200m	太子町			■	■		43		－
	A07-004	下水道	一般	太子町	直接	－	ポンプ 場	新設	太子前処理ポンプ場	汚泥貯留槽 汚泥スクリーン ポンプ設備等	太子町		■	■			165		－
	A07-005	下水道	一般	太子町	直接	－	終末処 理場	新設	揖保川浄化センター内汚泥搬入施設	操作盤 流量計 濃度計等	太子町		■	■			72		－
											小計						348		
										合計						348			

事後評価

○事後評価の実施体制、実施時期

事後評価の実施体制	事後評価の実施時期
事後評価庁内会議により実施	令和元年10月
	公表の方法
	町ホームページおよび経済建設部上下水道事業所で公表を実施

○事業効果の発現状況

定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	指標1：計画区域での概ね5年に1回程度発生する規模の降雨に対する雨水整備率が、55.7%から57%になった。 指標2：雨水貯留槽設置補助金交付事業を実施したが、設置24基と希望者が少なかったため目標の90基は達成できなかった。 指標3：区画整理事業に合わせて汚水整備を実施した。 指標4：前処理ポンプ場における汚泥処理方法を見直し、老朽化施設更新費用等を削減することとし、生汚泥引抜施設の整備率が0%から100%になった。 指標5：前処理ポンプ場における汚泥処理方法を見直し、老朽化施設更新費用等を削減することとし、浄化センターにおける生汚搬入施設の整備率が0%から100%になった。
定量的指標以外の交付対象事業の 効果の発現状況（必要に応じて記述）	

○特記事項（今後の方針等）

平成26年度から平成30年度まで5年間の計画期間において定量的指標は、雨水貯留槽の設置基数について目標達成できなかったが、区画整理事業に伴う雨水対策・下水道整備と前処理場での汚泥処理方法の見直し・整備については目標どおり実施できた。
今後も下水道整備を行い更なる快適な暮らしを実現するとともに、良好な環境づくりに取り組んでいきたい。

○目標値の達成状況			
番号	指標（略称）		
	目標値／実績値		目標値と実績値に差が出た要因
1	雨水整備率		
	最 終 目標値	57%	
	最 終 実績値	57%	
2	雨水貯留槽		
	最 終 目標値	90基	雨水貯留槽設置希望者が少なかったため。
	最 終 実績値	24基	
3	区画整理事業内の汚水整備		
	最 終 目標値	5ha	
	最 終 実績値	5ha	
4	前処理ポンプ場における生汚泥引抜施設の整備率		
	最 終 目標値	100%	
	最 終 実績値	100%	
5	浄化センターにおける生汚泥搬入施設の整備率		
	最 終 目標値	100%	
	最 終 実績値	100%	

社会資本総合整備計画

計画の名称	1 太子町における快適な暮らしを実現する下水道整備の推進	交付対象	太子町
計画の期間	平成26年度 ～ 平成30年度 (5年間)		

